

画像診断の はなし



新しいMRI装置が 導入されました。



診療放射線部
前田 晋佑

今年6月に新しいMRI装置が導入されました。MRI装置は磁場(磁石)を用いて撮影を行う装置です。今回導入されたMRI装置についてMRIの特徴を含めて簡単に紹介します。

MRI検査について

MRI検査は身体の輪切り画像を撮影する検査です。同じような画像を撮影する検査でCT検査があります。CT検査は装置自体もMRI装置と少し似ていてよく混同されがちな検査です。しかしその撮影方法や、得られる撮影画像は全く異なります。

	CT	MRI	MRIの特徴
放射線の使用	有	無	→放射線被曝の心配はまったくありません。
撮影時間	短い	長い	→内容によりますが15分~30分程度かかります。
騒音	少し有	大いに有	→多くの方が「すごい音だね」と言います。
画像のコントラスト	低い	高い	→白黒ははっきりした画像になります。
造影剤の使用量	多い	少ない	→多くの検査では10ml程度しか使用しません。

大きなところでは上記のような違いがあります。このなかでも一番の違いは放射線を使用していないことです。短期間のうちに何度検査しても被曝をしないので安全です。またMRI検査にも造影剤を使った検査がありますが、MRI検査はたださえ画像の白と黒がはっきりとした検査なので造影剤を使うことによってさらにその白黒がよく分かるようになります。造影剤の使用量もCT検査ではその多くが100ml程度使用するのに対し、MRIでは10ml程度と身体への負担も少なくなります。造影剤でアレルギー症状を起こすことも少なく、注入時に身体が熱くなるというようなこともないため安全です。

ゆとりのある空間へ

MRIの検査といえば狭い筒の中に長時間入らなくてはなりません。そのため閉所恐怖症の方は検査することができないことや、検査の内容によっては窮屈な姿勢を保たなくてはならないことがありました。しかし新しい装置では筒の直径が大きくなりゆとりのある空間になりましたが、実際には直径が10cmしか大きくなっていません。10cmと聞くと「たったそれだけ!?!」と思いますが、実際に入ってみると想像していた以上にゆとりがあります。閉所恐怖症の方でも、この新しい装置ならなんとか検査を受けることができるという方や、いつもと同じ姿勢で検査を受けていても、筒の中が広くゆとりがあって、とても楽だったという方などがいて、好評を得ています。

このほかにゆとりある空間になったことで、身体の大きな人でも余裕があることや、簡単に横を向いて検査を受けることができること、小さな子供の恐怖心を和らげられることなど様々な利点があり、日常の検査をスムーズに行えるようになりました。

